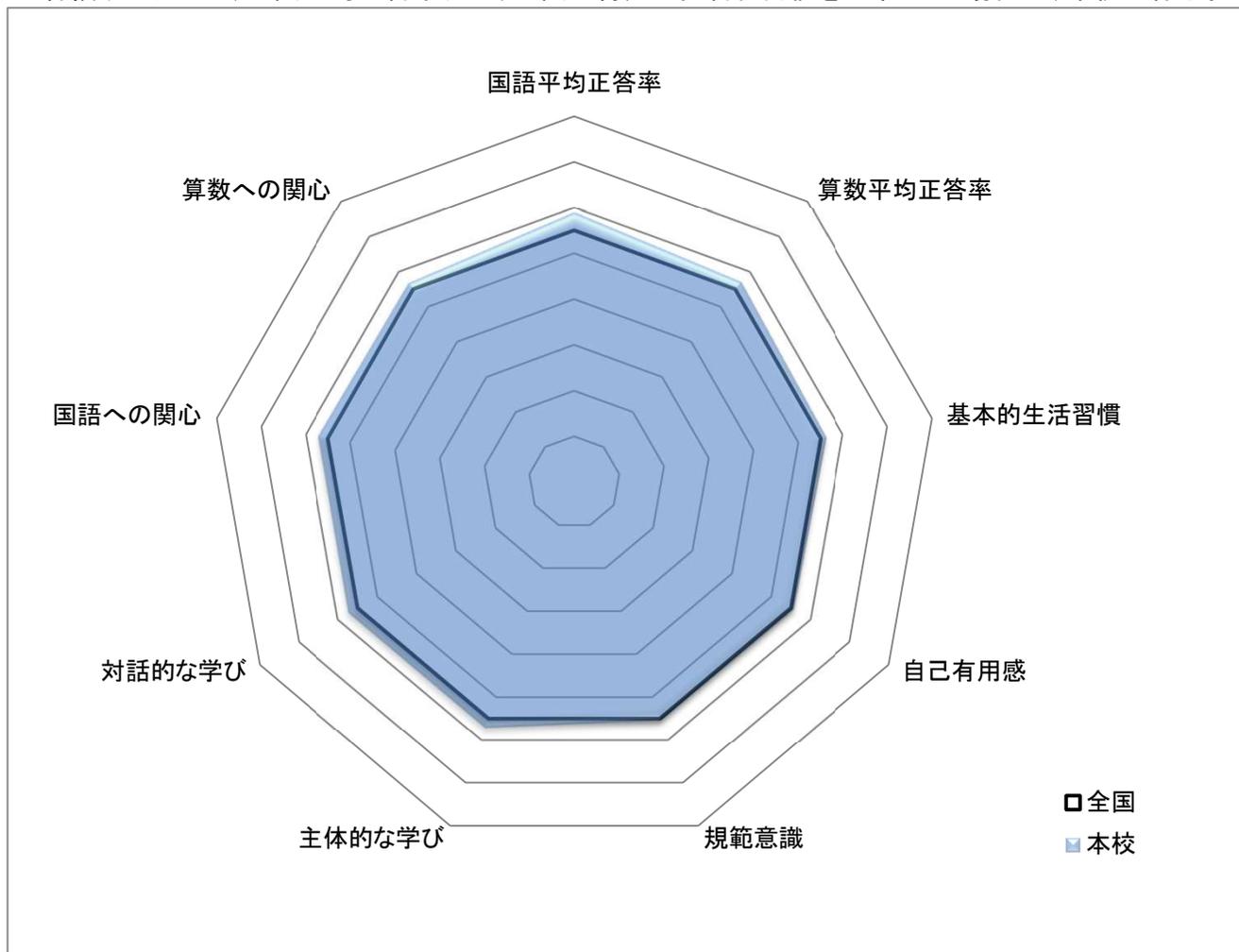


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

- ・国語も算数も平均正答率が江戸川区平均を上回った。国語は、漢字を正しい使い方に書き直したり、主語と述語の関係を捉えたりする問題では、平均を下回っており、「言葉の特徴や使い方に関する事項」を苦手としている児童が多い。算数は、円柱や球と言った立体についての理解に関する問題の正答率が低く、「B図形」の定着が十分とは言えない現状であると捉えている。
- ・生活、学習習慣が全国平均よりも高いということから、規則正しい生活習慣を心掛け、学習習慣も引き続き身に付けている状況が続いていると考えられる。

《授業改善のポイント》

<国語>

- ・読解する際に様々な文章に触れる中で、主語と述語の役割を理解しながら読み進めたり、繰り返し関係を捉える練習をしたりすることで、文の構造への興味関心を高めさせていく。
- ・言語事項の単元の時数を十分に設定し、習得できるようにする。

<算数>

- ・実物、模型、デジタル教材などを効果的に活用し、知識だけでなく、視覚的に体験的に理解を深める活動を設定し、立体図形の見方を養う。

《チャートの特徴》

今年度の学力調査の結果、国語は5.3%、算数は2.6%、全国の平均正答率を上回った。基礎的の学力や知識が概ね身に付き、意欲的に学習していることが分かった。質問調査では、すべての数値において、全国値と同率、もしくは上回っており、充実した学校生活を送ることができている。また、学びに対する意欲を表す、「主体的な学び」や「対話的な学び」では肯定的意見が8割程度と高い。本校の学習活動の工夫や特色ある教育活動の効果が表れているため、継続して多彩な教育活動を計画し、質の高い学習活動を実現していくため、教員の授業力向上に力を入れていく。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・学力調査や個々の学習カルテを通して、児童の実態を把握し補習を行ったり、授業改善を行うと共に、家庭にも情報を提供し、連携を図る。
- ・「江戸川っ子study week」を設定して家庭でもミラライシードを活用した復習への取り組みを働きかける。
- ・アクションプランで自分の課題を見つけて取り組む機会を設ける。
- ・学年便りや学校ホームページを活用して学校の取組や成果を公表するとともに、学習や生活環境の向上への理解を図る。